

# 凍霜害に気をつけましょう！

平成 31(2019)年 3 月 1 8 日

芳賀農業振興事務所

冬の気配が薄くなり、春の陽気が感じられ、花の便りも聞かれる季節となりましたが、平成25年に4月中旬から5月上旬にかけて発生した降霜を伴う低温で、開花時期にあった「なし」等の果樹が凍霜害を受けたこともあります。

これからの季節も農業災害に注意しましょう！

## 《 日頃から気をつけましょう！ 》

凍霜害の発生しやすい天候は、日本付近が移動性高気圧に覆われ、寒気が流れ込むとともに放射冷却が起こるような条件の時です。

たとえ夕方に雨が降っていても夜半にこのような気圧配置になるような場合は、翌朝の降霜に注意が必要です。

凍霜害が発生しやすい気象条件は以下のとおりです。

- (1) 降雨後で肌寒い北寄りの風が吹く。
- (2) 夕方になり風がやむ。
- (3) 夜になり晴れ上がり、雲がなく、星が輝き、底冷えがする。

また、乾燥条件下では気温が急激に低下しやすいので、注意が必要です。天気予想図や霜注意報などの気象情報により降霜の危険性を知ることができるので、防霜対策期間は常に気象情報をチェックしましょう。

県で農作物気象災害技術対策を発出しています。以下の HP を参照ください。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/g04/kisyousaigai/ametaisaku.html>

## < 参考データ >

果樹の発育程度別の危険限界温度(°C)						
樹種	硬い蕾	ふくらんだ蕾	開花直前	満開期	落花後	備考
りんご	-4.0	-2.5	-2.0	-1.8	-1.8	1.この温度で30分以上おかれた場合に危険である。
なし	-2.7	-1.9	-1.9	-1.5	-1.4	
もも	-4.5	-2.7	-2.3	-2.0	-2.0	
うめ	-7.0	-5.0	-4.0	-3.5	-4.0	2.ぶどうのほう芽・展開期は-3.5~-4.0°C
すもも	-4.5	-2.7	-2.3	-2.0	-2.0	



とちまるくん©栃木県

「農業防災メール」に登録すると、「防災情報」が入るまる。  
登録をお願いするまる。

防災メール登録  
QRコード

